

# 空知のくらし

## ■ 保健医療

管内は、北海道保健医療福祉計画に基づき「安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」に向けて取り組んでいます。

計画では、南空知・中空知・北空知の3つの第二次保健医療福祉圏域が設定され、圏域単位で医療機関の整備、結核・感染症等の予防、精神保健福祉対策や市町村の介護予防事業への支援、そして食の安全や生活衛生の確保などが進められています。

また、これからの高齢化社会を豊かで活力あるものにするため、「すこやか北海道21」の行動計画を各第二次保健医療福祉圏域ごとに作成し、一人ひとりが主体的に健康的な生活習慣を身につけることができるよう、市町村や関係機関が一体となって地域の健康づくりを推進しています。

医療については、地域センター病院である岩見沢市立総合病院、深川市立病院、砂川市立病院をはじめとした公的医療機関や民間医療機関により、医療サービスが提供されています。

また、砂川市立病院が平成22年10月、滝川市立病院が平成23年3月、あかびら市立病院病棟が平成27年3月に改築され、平成23年12月には砂川市立病院に地域救命救急センターが設置されるなど、病院機能の整備強化が図られています。

一方、医師をはじめとする医療従事者の不足や医療の高度・専門化が進む中、発症から在宅医療に至るまで、切れ目のない医療を提供するため、医療機関の適切な役割分担と連携体制の構築を進めています。

## ■ 社会福祉

管内の総人口に占める65歳以上の人口比率は、昭和40年代に入って全道平均を上回り、その差は徐々に広がりを見せ、道内でも非常に高齢化の進んだ地域となっています。

こうした中、平成12年度からスタートした介護保険制度により、介護を必要とする方が安心して暮らしていけるよう、様々な取り組みを進めるとともに、高齢者の方の自立した生活につながる市町村の取り組みを支援しています。

また、障がい者に関する差別、虐待、権利擁護に関する申立等について協議するため、平成22年4月から「空知圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」を設置すると共に、障がい福祉サービスの総合的な提供体制を図るため、福祉、保健、医療、教育、労働など関係分野の連携のもとに各種の取組を進めています。

さらに、安心して子育てができる環境づくりのため、保育所や地域子育て支援センターの整備を促進しています。

### ◆ 保健医療施設（平成28年1月1日現在）

区分	病院	診療所	歯科診療所
管内	41	196	178
南空知	19	111	100
中空知	17	61	59
北空知	5	24	19
全道	567	3,479	3,006



岩見沢市立総合病院（岩見沢市）

### ◆ 高齢者人口の推移（老年人口（65歳以上）の割合、国勢調査、平成27年は平成27年1月1日現在の住民基本台帳による。）

